


# 2020年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

## 事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【北九州市】

学校名【北九州市立 若園小学校】

1 実践テーマ	I · II · III · IV · V (複数選択可)
2 実施対象者 (学年・人数)	5年2学級、66人
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科等名 ( 総合的な学習の時間 )
4 目標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ スポーツ文化についての体験を通して自己の生き方について考えることができるようにする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ パラリンピックの種目「ボッチャ」について知るとともに、パラスポーツの意義について考えることができる。</li> <li>・ 「ボッチャ」の体験を通して、ボッチャの魅力を感じたり、障がい者スポーツへの理解を深めたりすることができる。</li> </ul> </li> </ul>
5 取組内容	<p>【事前指導】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 昨年度お招きしたパラアスリート中西麻耶さんの講演やふれあいについて想起する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 延期になった東京パラリンピックが今年度開催される予定で、中西麻耶さんが出場することへの期待感の醸成。</li> </ul> </li> <li>○ パラリンピックの種目「ボッチャ」について知る。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ パラリンピックの意義やパラリンピックについて知っていることを話し合う。</li> <li>・ パラリンピックの種目「ボッチャ」について知り、パラリンピックボッチャ日本代表の廣瀬選手の映像視聴を通して、その魅力に気付く。</li> <li>・ ボッチャの競技で使う用具（ボール等）に触れ、ボッチャに対する興味関心をもつ。</li> </ul> </li> </ul> <div style="text-align: right; margin-right: 20px;">  </div> <p>【ボッチャ体験】</p> <p>日時 令和3年2月15日</p> <p>対象 5年生 1組2校時 2組3校時</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「ボッチャ」の体験を通して、ボッチャの魅力や競技の面白さを実感する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 北九州市障害者スポーツセンター「アレアス」の職員の方を講師としてお招きし、ボッチャで使用する競技用具やルールについて教えていただく。</li> </ul> </li> </ul>



重い障がいがあっても、「ランプ」を使えば競技ができることを知る

- 講師の方にルールや得点の付け方を教わりながら、ボッチャを体験し、その魅力に触れる。



競技のルールを学ぶ



得点を計算



ボッチャ競技を体験

1クラス6グループに分かれ、対戦形式でゲームを体験し、優勝チームは先生・講師チームと対戦する。

- 体験した感想を出し合う。






#### 《児童の感想》

- ボッチャは、ルールは簡単だけど、やってみると思っていたより難しかったです。でも、だんだんとできるようになってきて楽しくなってきました。
- 初めてボッチャをしました。テレビで見たカーリングに似ているな、と思いました。
- 思ったようにボールがいかなくて、こつがいるなと思いました。
- 「ランプ」を使えば、どんな人でも競技できることが分かりました。うちのおじいちゃんでもできそうです。
- アレアスの方や先生のチームと対戦してあとちょっとで負けたのが悔しかったです。でも、年の違う人とでもできることが分かりました。来年、1年生に教えて一緒に対戦してみたいです。

- 今後も学級の集会等でボッチャに取り組み、ボッチャの魅力を実感し、たくさんの人に広げたいという思いをもつ。

#### 【事後指導】

- パラリンピック競技には、ボッチャのようにいろいろな障がいがある人でも参加できるようにさまざまな工夫がされていることに気付く。
- 東京パラリンピックの開催に期待をもち、特に自分たちが出会った中西さんやボッチャ競技を応援する気持ちをもつ。

<p>6 主な成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 競技映像の視聴を通して、ボッチャについて詳しく知ったり、パラメダリストの技能の高さを見たりすることで、ボッチャについての理解を深めることができた。</li> <li>○ 実際にボッチャを体験することを通して、その楽しさや魅力を実感し、「またボッチャをやりたい」「多くのみんなに広げたい」という思いをもつことができた。</li> <li>○ パラリンピック競技には、いろいろな障がいがある人でも参加できるように、さまざまな工夫がされていることに気付くことができた。</li> </ul>
<p>7実践において工夫した点(事業の特色)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 対戦形式でボッチャを体験することで、ボッチャ競技の面白さを実感することができた。</li> <li>○ ボッチャの競技用具を数セット購入したことで、ボッチャに今後持続的に取り組むことが期待できる。学年集会等で活用。</li> <li>○ ボッチャ競技者との交流はできなかったが、ボッチャに関わっている方(障害者スポーツセンターアレアス職員)の話を聞くことを通して、ボッチャについて知ることができた。</li> <li>○ 学校通信を通して、パラリンピック種目の一つであるボッチャの魅力や本校のオリパラの取組について保護者や地域の方に発信した。</li> </ul> <div data-bbox="798 828 1340 1321" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">令和2年度 学校通信第24号</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="text-align: center;">  <p><b>「わかっこだより」</b> 北九州市立若園小学校校長 城戸 祥次 学校ホームページ <a href="http://www.kita8.ed.jp/wakazono/">http://www.kita8.ed.jp/wakazono/</a></p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>【学校教育目標】 「一人一人が生き生きと輝き、知・徳・体の調和のとれた 自立した児童の育成」</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>【学校が大切にしていること】 一人一人が生き生きと輝き、知・徳・体の調和のとれた 自立した児童の育成</p> </div> </div> <p style="text-align: center;"><b>5年生、「ボッチャ」を体験</b></p> <p>15日に、オリンピック・パラリンピック事業の一環で、5年生が「ボッチャ」を体験しました。ボッチャ競技とは、重度障害性障害者もしくは高機能の四肢運動機能障がい者のために考案された、ヨーロッパで生まれたスポーツで、パラリンピックの正式種目です。</p> <p>この競技は、ジャックボール(自爆球)と呼ばれる白いボールに、赤・青のそれぞれ3球ずつのカラーボールを投げたり、転がしたり、他のボールに当てたりして、いかに近づけるかを競います。障がいの多いボールを投げることができなくても、短距離(ランプ)を使い、自分の意思を介助者に伝えることができれば参加できます。</p> <p>当日は、北九州市障害者スポーツセンター「アレアス」の所長様をはじめ、ボッチャの指導員の方を3名お招きし、競技の意義やルールのお話をいただいた後に実際にゲームをしました。カーリングに似ており、意外にルールは簡単で、若手男女や障がいがある方にも比較的取り組みやすく、それだけでとても白熱する競技で、5年生の子どもたちも夢中になっていました。選手数が1チームになり、一人ずつがボールを投げる個人技と組合点で競うチーム力が必要です。子どもたちはプレーする反応に声をかけたり、投げる直前は静寂のなか見守ったりと、楽しく活動できました。また、障がいのある方には「ランプ」という坂道状のコースを使って投球することも学びました。東京パラリンピックの競技種目でもあるボッチャをみんなで体験できるとうれしい、と思います。この機会に、本校に4セット購入しました。いろいろな学年でも使っていき、ボッチャの魅力を共有したいと思います。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> </div> <div data-bbox="734 896 790 1265" style="writing-mode: vertical-rl; position: absolute; left: 460px; top: 400px;"> <p>学校通信に掲載し、取組を発信 パラリンピックの意義と魅力について啓発</p> </div>
<p>8主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 新型コロナウイルス感染症の影響で、当初計画していたアスリート講師をお招きして交流することはできなかった。</li> </ul> <p>そのため、ボッチャの楽しさは体験することができたが、競技者の苦労や悩みをご本人から直接生で聞いて考えたり、パラスポーツとしての価値を実感したりするまで十分には至らなかった。</p>
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 当該の5年生だけでなく、いろいろな学年にボッチャを体験させ、取組を広げていく。</li> <li>○ 来年度以降は、ボッチャ競技に限らず、パラリンピックアスリートやそれを支える方をお招きして、その競技の素晴らしさを実感したり、競技に関わる苦労や工夫をお聞きしたりすることで、パラリンピックへの関心をさらに高めるとともに、パラスポーツに対する理解や認識を深めていくようにしたい。</li> </ul>